

令和5年度
学校評価 報告書



甲府市立北中学校

目次

- 令和5年度 北中学校 スクールプランと評価
- 評価方法の概要
- 教職員自己評価集計結果 P1
- 生徒アンケート集計結果 P4
- 保護者アンケート集計結果 P6
- 成果と課題・改善策について P9
- 学校関係者評価について P15

○ 令和5年度 北中学校 スクールプランと評価

令和5年度 甲府市立北中学校スクールプラン（学校教育目標、学校経営の努力点、指導重点）と評価

学校教育目標		個性豊かな民主的実践人～自らの持ち味発揮し、仲間と助け合える人～			
めざす学校像	★ 楽しい学校 ★ 活力ある学校 ★ 美しい学校	めざす生徒像	★ 自ら学ぶ生徒 ★ 素直な心を持つ生徒 ★ 健康な体をつくる生徒	めざす教員像	★ 情熱ある教師 ★ 責任感ある教師 ★ 実践力ある教師
学校経営の努力点	(1)確かな学力の定着 ①「わかる」「できる」を実感できる授業 ②基礎基本の定着と学習習慣の確立 (2)豊かな心の育成 ③道徳授業の充実による「思い遣る心」の育成 ④自己有用感の育成と心の居場所づくり ⑤「自主活動」「自主管理」精神の継承 (3)健やかな体づくり ⑥健康・安全教育の推進 ⑦進んで運動する態度の育成と体力の向上 (4)特別支援教育の充実 ⑧全校体制による指導支援体制の構築 ⑨家庭・関係機関との連携 ⑩ユニバーサルデザインを取り入れた環境整備への積極的な取組 ⑪客観的調査による一人ひとりの状況把握と最適な支援の実施 (5)開かれた学校づくりの推進 ⑫小中連携の推進 ⑬保護者・地域との信頼関係の醸成 ⑭郷土理解を深める教育活動の推進 (6)多忙化改善に向けた取組 ⑮基本方針に沿ったメリハリのある部活動 ⑯会議、打合せ等の効率化 ⑰業務内容(教育課程、校務分掌等)の見直しと改善				

	指導重点	具体的な目標・手立て	評価指標	アンケート項目(番号)
確かな学力	①「甲府スタイル」をモデルとした授業づくり	・ICTの効果的な活用 ・教科の授業実践(一人一実践)	・ICTを取り入れ、甲府スタイルの授業実践を行っているか。 ・授業改善につながる評価を行っているか。	生①②③ 保①②
	②朝の自主活動、振り返り学習の工夫	・自主学習の充実、学年諸活動の実践	・教科の振り返り学習や学年の諸活動として朝の自主活動は効果的であったか。	職①②③④
豊かな心	③「考え、議論する」道徳の授業の推進	・道徳の授業実践	・「考え・議論する」場の設定をし、授業づくりを行っているか。	職⑥
	④いじめ・不登校の未然防止・早期対応	・情報の共有と課題の把握・生徒理解	・生徒理解・支援に努めるとともに、家庭との連携は適切に図られているか。	生④ 保③④ 職⑤⑩
	⑤一人ひとりの持ち味を認め、活かす集団づくり	・学友会、学年、学級、部活動との連携	・生徒の個性を理解し、思いやり、支え合う集団づくりに取り組んでいるか。	生⑥⑦⑧ 保⑤⑥⑦ 職⑦⑧
健やかな体	⑥実践的な防災・防犯訓練の実施	・防災に関する学習や定期的な避難訓練の実施	・避難訓練や防災教育を適切に行い、危機管理や防災意識の向上が図られているか。	生⑨ 保⑧ 職⑪
	⑦新しい生活様式を踏まえた取組の継続と推進	・環境づくり、保健衛生、ときと場に応じた行動と対策	・感染症への意識化を図り、日常生活の確立に取り組んだか。	生⑩ 保⑨ 職⑫
	⑦「体力づくり」の充実	・学友会活動との連携 集団づくり	・体力づくりの伝統と意義について指導し、生徒の積極的な活動を支援しているか。	生⑪ 保⑩ 職⑬
特別支援教育の充実	⑧全校体制による指導支援体制の構築	・ユニバーサルデザインを取り入れた環境づくり、授業のUD化	・課題を抱える個々の生徒への支援は適切に行われているか。	職⑮
	⑨家庭・関係機関との連携	・家庭・関係機関との連携による効果的な支援		
	⑩授業のUD化 ⑪アセス調査に基づく個別支援			
開かれた学校	⑫七校長会による情報交換と小中連携の推進	・小中合同研究会、「NOスマホDay」の実施	・小中連携を意図し、効果的な取り組みとなっているか。	職⑭
	⑬学校・学年だより・学校HPによる情報発信	・たよりの発行と地域回覧、HPの工夫	・学校・学年・学級たより及びホームページを活用した情報発信ができているか。	生⑫ 保⑪⑫ 職⑮
	⑭地域教材及び地域人材の活用	・職業講話、福祉講話、安全教室等の実施	・地域人材を活用し、生徒の興味関心を高める機会を積極的に設定しているか。	職⑯
多忙化改善に向けた取組	○基本方針に沿ったメリハリのある部活動 ○会議、打合せ等の効率化 ○業務内容(教育課程、校務分掌等)の見直しと改善			職⑰

○ 評価方法の概要

実施時期 令和5年12月

実施対象 教職員25名(非常勤講師を除く)

参考調査として全校生徒とその保護者

全校生徒268名(240名回答、89.6%)

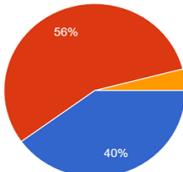
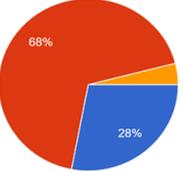
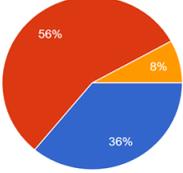
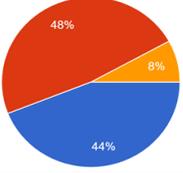
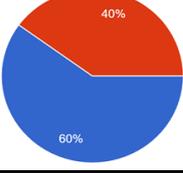
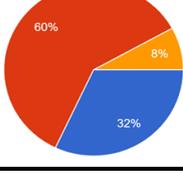
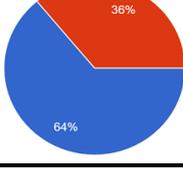
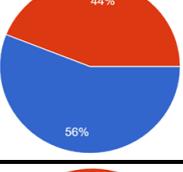
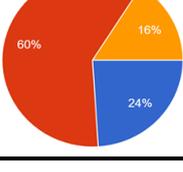
保護者239世帯(215回答、90.0%)

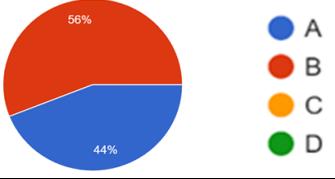
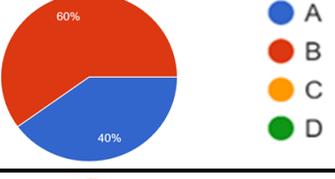
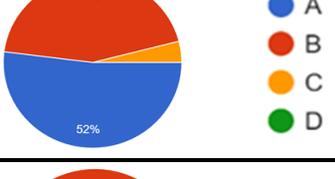
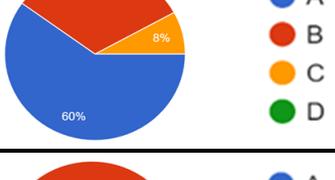
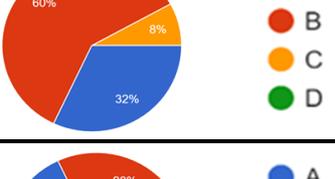
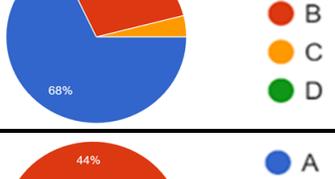
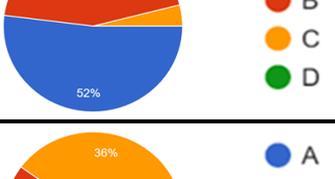
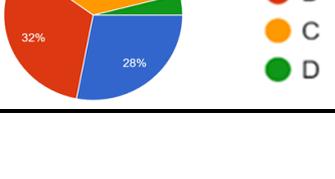
※家庭の代表者1名、兄弟姉妹がいる場合は上の学年で回答

実施方法 webアンケート(Google Forms)

○教職員アンケート集計結果

A 十分できていると思う B おおむねできていると思う C やや問題がある D 問題がある

	質問内容	年度	数値		回答数				割合(%)				R5
			総数	平均	A	B	C	D	A	B	C	D	
1	発問・学習形態・ICTの活用など工夫して授業を行っている。	R4	19	3.3	8	9	2	0	42	47	11	0	 <ul style="list-style-type: none"> ● A ● B ● C ● D
		R5	25	3.4	10	14	1	0	40	56	4	0	
2	教科の研修に努めるとともに、授業と家庭学習が連動するような工夫をしている。	R4	20	3.2	8	9	2	1	40	45	10	5	 <ul style="list-style-type: none"> ● A ● B ● C ● D
		R5	25	3.2	7	17	1	0	28	68	4	0	
3	朝学習や新聞スクラップなど各学年の取り組みの成果は出ている。	R4	19	3.4	8	11	0	0	42	58	0	0	 <ul style="list-style-type: none"> ● A ● B ● C ● D
		R5	25	3.3	9	14	2	0	36	56	8	0	
4	新しい評価内容を理解し、工夫して日々の学習について記録の蓄積に努めている。	R4	20	3.3	5	15	0	0	25	75	0	0	 <ul style="list-style-type: none"> ● A ● B ● C ● D
		R5	25	3.4	11	12	2	0	44	48	8	0	
5	情報収集に努め、定期的な二者懇談の実施や職員間の情報交換を通して、個に応じた適切な支援に努めている。	R4	14	3.6	10	3	1	0	71	21	7	0	 <ul style="list-style-type: none"> ● A ● B ● C ● D
		R5	25	3.6	15	10	0	0	60	40	0	0	
6	学習形態や発問を工夫し、「考え議論する」道徳の授業の実践に努めている。	R4	19	3.2	4	14	1	0	21	74	5	0	 <ul style="list-style-type: none"> ● A ● B ● C ● D
		R5	25	3.2	8	15	2	0	32	60	8	0	
7	生徒の積極的な行事への参加を支援し、生徒理解に努め、信頼関係づくりに取り組んでいる。	R4	22	3.5	12	10	0	0	55	45	0	0	 <ul style="list-style-type: none"> ● A ● B ● C ● D
		R5	25	3.6	16	9	0	0	64	36	0	0	
8	学級活動等、諸活動の中で、思いやりの心を育て、支え合う集団づくりに努めている。	R4	22	3.6	13	9	0	0	59	41	0	0	 <ul style="list-style-type: none"> ● A ● B ● C ● D
		R5	25	3.6	14	11	0	0	56	44	0	0	
9	職業講話や福祉講話等、地域（外部）人材を活用し、豊かな心を育てる指導に努めている。	R4	18	3.4	11	5	1	1	61	28	6	6	 <ul style="list-style-type: none"> ● A ● B ● C ● D
		R5	25	3.1	6	15	4	0	24	60	16	0	

	質問内容	年度	総数	平均	A	B	C	D	A	B	C	D	R5
10	不登校生徒、その保護者へのアプローチを定期的に行い、家庭と連携しながら、生徒支援に努めている。	R4	19	3.5	11	7	1	0	58	37	5	0	
		R5	25	3.4	11	14	0	0	44	56	0	0	
11	危機管理マニュアルに基づき、防災学習、避難訓練、安全点検など、安全・安心な学校づくりに努め、生徒の防災意識の向上を図る指導を行っている。	R4	22	3.4	10	10	2	0	45	45	9	0	
		R5	25	3.4	10	15	0	0	40	60	0	0	
12	コロナ5類移行後も教育活動全般において感染症対策に努め、新しい生活様式を踏まえた環境づくりや生活指導を行っている。	R4	23	3.7	17	6	0	0	74	26	0	0	
		R5	25	3.5	13	11	1	0	52	44	4	0	
13	学生会活動への支援を行い、体力づくりの指導を適切に行っている。	R4	20	3.4	8	12	0	0	40	60	0	0	
		R5	25	3.5	15	8	2	0	60	32	8	0	
14	七校長会を中心に、効果的に小中学校の連携が図られている。	R4	21	3.2	6	13	2	0	29	62	10	0	
		R5	25	3.2	8	15	2	0	32	60	8	0	
15	学校・学年・学級だよりなどのたよりを定期的に発行し、PTA活動・学校行事など、学校の教育活動を知ってもらうための努力をしている。	R4	21	3.8	17	3	1	0	81	14	5	0	
		R5	25	3.6	17	7	1	0	68	28	4	0	
16	全校体制での支援や関係機関との連携、ユニバーサルデザインの視点での教室環境づくり等、課題を抱える生徒に対し、適切な支援に努めている。	R4	23	3.4	11	10	2	0	48	43	9	0	
		R5	25	3.5	13	11	1	0	52	44	4	0	
17	多忙化改善に向けた取組を理解し、セルフケアに留意しながら行動することができた。【個人の取組】	R5	25	2.8	7	8	9	1	28	32	36	4	

教職員アンケートと生徒アンケート・保護者アンケートとの比較

【確かな学力】

番号	教職員アンケート	評価	番号	生徒アンケート	評価	番号	保護者アンケート	評価
1	発問・学習形態・ICTの活用など工夫して授業を行っている。	3.4	1	積極的に授業に参加し、課題解決やノートづくりに真剣に取り組んでいますか。	3.5	1	お子さんは、学校の授業に意欲的に取り組み、授業の内容が分かっていると思いますか。	2.9
2	教科の研修に努めるとともに、授業と家庭学習が連動するような工夫をしている。	3.2	2	クロームブックやICT教材を活用した授業では、その使い方などを理解できていますか。	3.6	2	お子さんは、計画的に家庭学習を行っていますか。	2.6
3	朝学習や新聞スクラップなど各学年の取り組みの成果は出ている。	3.3	3	家庭学習に自主的に取り組んでいますか。	2.8			
4	新しい評価内容を理解し、工夫して日々の学習について記録の蓄積に努めている。	3.4						

【豊かな心】

番号	教職員アンケート	評価	番号	生徒アンケート	評価	番号	保護者アンケート	評価
6	学習形態や発問を工夫し、「考え議論する」道徳の授業の実践に努めている。	3.2	4	困ったことがあった時に、親・先生・友だちに相談していますか。	3.4	3	お子さんは、困ったことがあった時に、親に相談しますか。	3.1
7	生徒の積極的な行事への参加を支援し、生徒理解に努め、信頼関係づくりに取り組んでいる。	3.6	5	学級や学年集団の中で、思いやりの心を持って接していますか。	3.6	4	お子さんは、学校のことや友だちのことなど家で話をしますか。	3.2
8	学級活動等、諸活動の中で、思いやりの心を育て、支え合う集団づくりに努めている。	3.6	6	清掃や係の仕事など、学級・学年の仕事に責任持って取り組んでいますか。	3.7	5	お子さんは、学校の中で居場所があり、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	3.3
10	不登校生徒、その保護者へのアプローチを定期的に行い、家庭と連携しながら、生徒支援に努めている。	3.4	7	学級・学年・その他の学校の活動の中で、やりがいを感じていますか。	3.6	6	お子さんは、友だちをはじめ、まわりの人に思いやりの心を持って接していると思いますか。	3.4
			8	学友会の活動（北陽祭などの行事・委員会活動等）に友達と協力し取り組んでいますか。	3.8	7	お子さんは、学友会の活動（北陽祭などの行事・委員会活動等）に積極的に参加していると思いますか。	3.3

【健やかな体】

番号	教職員アンケート	評価	番号	生徒アンケート	評価	番号	保護者アンケート	評価
11	危機管理マニュアルに基づき、防災学習、避難訓練、安全点検など、安全・安心な学校づくりに努め、生徒の防災意識の向上を図る指導を行っている。	3.4	9	災害等に直面したとき、正しく行動できると思いますか。	3.5	8	お子さんと自然災害等、防災に関することを家庭内で確認していることがありますか。	2.6
12	コロナ5類移行後も教育活動全般において感染症対策に努め、新しい生活様式を踏まえた環境づくりや生活指導を行っている。	3.5	10	新しい生活様式を意識した生活ができていますか。	3.7	9	お子さんは、感染症対策について、意識して生活していると思いますか。	3.2
13	学友会活動への支援を行い、体力づくりの指導を適切に行っている。	3.5	11	健康を考えて、体力づくりなど体力の向上に励んでいますか。	3.5	10	お子さんは、進んで運動をするなど、体力づくりに努めていますか。	2.9

【開かれた学校】

番号	教職員アンケート	評価	番号	生徒アンケート	評価	番号	保護者アンケート	評価
9	職業講話や福祉講話等、地域（外部）人材を活用し、豊かな心を育てる指導に努めている。	3.1	12	学校便り、学年・学級便りが発行されています。読んでいますか。	3.2	11	学校・学年・学級だより・ホームページを通して、学校の様子がわかりますか。	3.1
14	七校長会を中心に、効果的に小中学校の連携が図られている。	3.2				12	P T A 活動・学校行事への参加や参観をしたいと思いますか。	2.8
15	学校・学年・学級だよりなどのたよりを定期的に発行し、P T A 活動・学校行事など、学校の教育活動を知ってもらうための努力をしている。	3.6						

○生徒アンケート集計結果

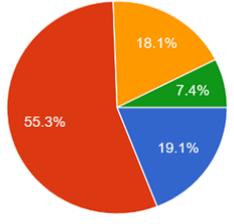
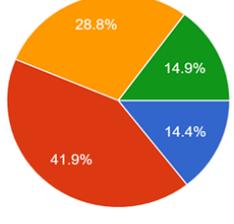
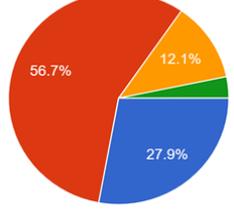
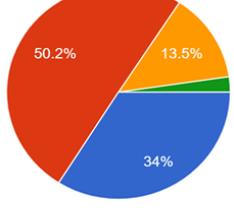
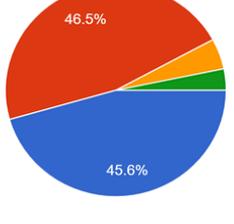
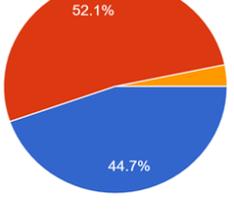
A よくできている B だいたいできている C あまりできていない D できていない

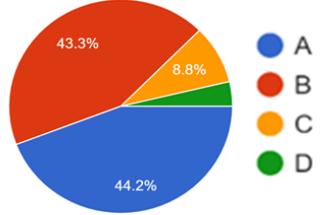
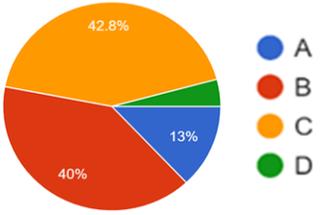
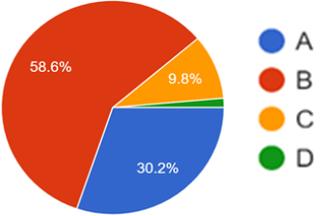
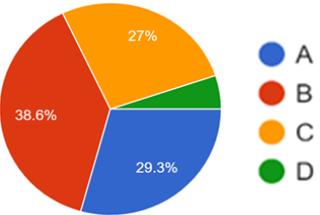
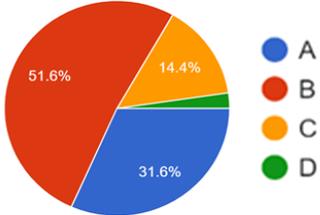
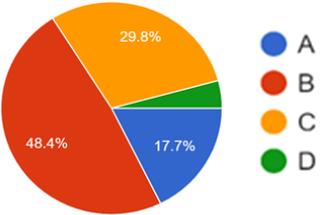
	質問内容	年度	学年	数値				回答数				割合(%)				R5	
				総数	平均	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B		C
1	積極的に授業に参加し、課題解決やノートづくりに真剣に取り組んでいますか。	R4	1	77	3.4	37	32	7	1	48	42	9	1				
			2	88	3.3	42	34	11	1	48	39	13	1				
			3	86	3.5	56	24	1	5	65	28	1	6				
			計	251	3.4	135	90	19	7	54	36	8	3				
		R5	1	76	3.6	48	22	6	0	63	29	8	0				
			2	73	3.4	40	26	6	1	55	36	8	1				
			3	91	3.5	50	34	5	2	55	37	5	2				
			計	240	3.5	138	82	17	3	58	34	7	1				
		2	クロームブックやICT教材を活用した授業では、その使い方などを理解できていますか。	R4	1	77	3.7	57	17	2	1	74	22		3	1	
					2	88	3.6	63	19	6	0	72	22		7	0	
3	86				3.5	53	28	2	3	62	33	2	3				
計	251				3.6	173	64	10	4	69	25	4	2				
R5	1			76	3.7	52	22	2	0	68	29	3	0				
	2			73	3.6	47	23	3	0	64	32	4	0				
	3			91	3.6	55	34	2	0	60	37	2	0				
	計			240	3.6	154	79	7	0	64	33	3	0				
3	家庭学習に自主的に取り組んでいますか。			R4	1	76	3.0	28	27	15	6	37	36	20	8		
					2	88	2.7	17	35	29	7	19	40	33	8		
		3	86		2.8	24	30	25	7	28	35	29	8				
		計	250		2.8	69	92	69	20	28	37	28	8				
		R5	1	76	2.7	13	34	19	10	17	45	25	13				
			2	73	2.9	17	35	18	3	23	48	25	4				
			3	91	2.9	16	52	18	5	18	57	20	5				
			計	240	2.8	46	121	55	18	19	50	23	8				
		4	困ったことがあった時に、親・先生・友だちに相談していますか。	R4	1	77	3.2	42	15	16	4	55	19	21	5		
					2	88	3.3	47	27	8	6	53	31	9	7		
3	86				3.2	41	29	10	6	48	34	12	7				
計	251				3.3	130	71	34	16	52	28	14	6				
R5	1			76	3.6	50	21	4	1	66	28	5	1				
	2			73	3.3	39	22	7	5	53	30	10	7				
	3			91	3.3	44	34	10	3	48	37	11	3				
	計			240	3.4	133	77	21	9	55	32	9	4				
5	学級や学年集団の中で、思いやりの心を持って接していますか。			R4	1	76	3.6	50	21	3	2	66	28	4	3		
					2	88	3.6	58	28	2	0	66	32	2	0		
		3	86		3.6	59	23	2	2	69	27	2	2				
		計	250		3.6	167	72	7	4	67	29	3	2				
		R5	1	76	3.6	48	25	2	1	63	33	3	1				
			2	73	3.7	52	18	3	0	71	25	4	0				
			3	91	3.5	50	39	2	0	55	43	2	0				
			計	240	3.6	150	82	7	1	63	34	3	0				
		6	清掃や係の仕事など、学級・学年の仕事に責任持って取り組んでいますか。	R4	1	77	3.7	58	17	0	2	75	22	0	3		
					2	88	3.7	65	21	2	0	74	24	2	0		
3	86				3.6	62	20	1	3	72	23	1	3				
計	251				3.7	185	58	3	5	74	23	1	2				
R5	1			76	3.8	58	17	1	0	76	22	1	0				
	2			73	3.6	47	23	1	2	64	32	1	3				
	3			91	3.6	59	31	1	0	65	34	1	0				
	計			240	3.7	164	71	3	2	68	30	1	1				

質問内容		年度	学年	総数	平均	A	B	C	D	A	B	C	D	R5
7	学級・学年・その他の学校の活動の中で、やりがいを感じていますか。	R4	1	77	3.5	50	19	5	3	65	25	6	4	
			2	88	3.5	54	28	2	4	61	32	2	5	
			3	86	3.5	59	17	7	3	69	20	8	3	
			計	251	3.5	163	64	14	10	65	25	6	4	
		R5	1	76	3.6	48	28	0	0	63	37	0	0	
			2	73	3.6	50	17	5	1	68	23	7	1	
			3	91	3.6	63	23	4	1	69	25	4	1	
			計	240	3.6	161	68	9	2	67	28	4	1	
8	学友会の活動（北陽祭などの行事・委員会活動等）に友達と協力し取り組んでいますか。	R4	1	75	3.8	61	13	0	1	81	17	0	1	
			2	90	3.8	75	11	1	3	83	12	1	3	
			3	84	3.8	72	9	2	1	86	11	2	1	
			計	249	3.8	208	33	3	5	84	13	1	2	
		R5	1	76	3.9	69	5	2	0	91	7	3	0	
			2	73	3.7	55	15	1	2	75	21	1	3	
			3	91	3.8	73	16	2	0	80	18	2	0	
			計	240	3.8	197	36	5	2	82	15	2	1	
9	災害等に直面したとき、正しく行動できると思いますか。	R4	1	77	3.3	37	31	6	3	48	40	8	4	
			2	87	3.5	47	35	5	0	54	40	6	0	
			3	85	3.3	41	31	7	6	48	36	8	7	
			計	249	3.4	125	97	18	9	50	39	7	4	
		R5	1	76	3.4	39	32	3	2	51	42	4	3	
			2	73	3.6	48	18	7	0	66	25	10	0	
			3	91	3.4	44	40	7	0	48	44	8	0	
			計	240	3.5	131	90	17	2	55	38	7	1	
10	新しい生活様式を意識した生活ができていますか。 注：新しい生活様式とは…状況に応じたマスク着用や人との距離、咳エチケット、手洗い、常時換気（冷暖房使用時の換気）など	R4	1	77	3.4	47	21	4	5	61	27	5	6	
			2	88	3.5	47	38	3	0	53	43	3	0	
			3	86	3.3	44	32	6	4	51	37	7	5	
			計	251	3.4	138	91	13	9	55	36	5	4	
		R5	1	76	3.6	53	19	4	0	70	25	5	0	
			2	73	3.7	57	13	1	2	78	18	1	3	
			3	91	3.6	60	27	3	1	66	30	3	1	
			計	240	3.7	170	59	8	3	71	25	3	1	
11	健康を考えて、体力づくりなど体力の向上に励んでいますか。	R4	1	77	3.4	45	22	6	4	58	29	8	5	
			2	88	3.3	45	28	10	5	51	32	11	6	
			3	86	3.1	39	22	20	5	45	26	23	6	
			計	251	3.3	129	72	36	14	51	29	14	6	
		R5	1	76	3.6	50	19	6	1	66	25	8	1	
			2	73	3.4	47	14	8	4	64	19	11	5	
			3	91	3.5	58	22	9	2	64	24	10	2	
			計	240	3.5	155	55	23	7	65	23	10	3	
12	学校便り、学年・学級便りが発行されています。読んでいますか。	R4	1	77	3.5	49	20	3	5	64	26	4	6	
			2	88	3.2	39	30	13	6	44	34	15	7	
			3	86	3.2	38	29	13	6	44	34	15	7	
			計	251	3.3	126	79	29	17	50	31	12	7	
		R5	1	76	3.1	31	27	14	4	41	36	18	5	
			2	73	3.3	42	14	13	4	58	19	18	5	
			3	91	3.1	36	34	14	7	40	37	15	8	
			計	240	3.2	109	75	41	15	45	31	17	6	

○保護者アンケート集計結果とまとめ

- A よくできている（よく当てはまる） B だいたいできている（だいたい当てはまる）
 C あまりできていない（あまり当てはまらない） D できていない（全く当てはまらない）

	質問内容	年度	学年	数値				回答数				割合(%)				R5
				総数	平均	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	
1	お子さんは、学校の授業に意欲的に取り組み、授業の内容が分かっていると思いますか。	R4	1	54	2.8	7	33	11	3	13	61	20	6			
			2	75	2.7	16	33	17	9	21	44	23	12			
			3	56	2.8	18	19	10	9	32	34	18	16			
			計	185	2.8	41	85	38	21	22	46	21	11			
		R5	1	56	2.8	8	32	13	3	14	57	23	5			
			2	65	2.9	9	40	15	1	14	62	23	2			
			3	94	2.9	24	47	11	12	26	50	12	13			
計	215	2.9	41	119	39	16	19	55	18	7						
2	お子さんは、計画的に家庭学習を行っていますか。	R4	1	54	2.5	9	15	22	8	17	28	41	15			
			2	75	2.3	5	26	31	13	7	35	41	17			
			3	56	2.6	17	14	12	13	30	25	21	23			
			計	185	2.4	31	55	65	34	17	30	35	18			
		R5	1	56	2.5	7	23	18	8	13	41	32	14			
			2	65	2.5	11	21	24	9	17	32	37	14			
			3	94	2.6	13	46	20	15	14	49	21	16			
計	215	2.6	31	90	62	32	14	42	29	15						
3	お子さんは、困ったことがあった時に、親に相談しますか。	R4	1	54	3.2	23	23	6	2	43	43	11	4			
			2	75	3.2	29	33	12	1	39	44	16	1			
			3	56	3.2	24	23	7	2	43	41	13	4			
			計	185	3.2	76	79	25	5	41	43	14	3			
		R5	1	56	3.0	14	32	7	3	25	57	13	5			
			2	65	3.2	22	36	7	0	34	55	11	0			
			3	94	3.0	24	54	12	4	26	57	13	4			
計	215	3.1	60	122	26	7	28	57	12	3						
4	お子さんは、学校のことや友だちのことなど家で話をしますか。	R4	1	54	3.2	24	17	11	2	44	31	20	4			
			2	75	3.1	28	31	13	3	37	41	17	4			
			3	56	3.3	29	19	6	2	52	34	11	4			
			計	185	3.2	81	67	30	7	44	36	16	4			
		R5	1	56	3.0	16	28	10	2	29	50	18	4			
			2	65	3.2	23	35	7	0	35	54	11	0			
			3	94	3.2	34	45	12	3	36	48	13	3			
計	215	3.2	73	108	29	5	34	50	13	2						
5	お子さんは、学校の中で居場所があり、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	R4	1	54	3.5	28	24	1	1	52	44	2	2			
			2	75	3.3	36	30	6	3	48	40	8	4			
			3	56	3.4	33	13	7	3	59	23	13	5			
			計	185	3.4	97	67	14	7	52	36	8	4			
		R5	1	56	3.3	24	28	3	1	43	50	5	2			
			2	65	3.3	23	41	0	1	35	63	0	2			
			3	94	3.4	51	31	7	5	54	33	7	5			
計	215	3.3	98	100	10	7	46	47	5	3						
6	お子さんは、友だちをはじめ、まわりの人に思いやりの心を持って接していると思いますか。	R4	1	54	3.5	28	23	3	0	52	43	6	0			
			2	75	3.4	34	36	5	0	45	48	7	0			
			3	56	3.6	34	21	1	0	61	38	2	0			
			計	185	3.5	96	80	9	0	52	43	5	0			
		R5	1	56	3.5	29	24	3	0	52	43	5	0			
			2	65	3.4	25	38	2	0	38	58	3	0			
			3	94	3.4	42	50	2	0	45	53	2	0			
計	215	3.4	96	112	7	0	45	52	3	0						

	質問内容	年度	学年	総数	平均	A	B	C	D	A	B	C	D	R5
7	お子さんは、学友会の活動（北陽祭などの行事・委員会活動等）に積極的に参加していると思いますか。	R4	1	54	3.4	27	21	5	1	50	39	9	2	
			2	64	3.1	25	25	10	4	39	39	16	6	
			3	56	3.4	29	21	4	2	52	38	7	4	
			計	174	3.3	81	67	19	7	47	39	11	4	
		R5	1	56	3.2	22	26	5	3	39	46	9	5	
			2	65	3.3	27	33	5	0	42	51	8	0	
			3	94	3.3	46	34	9	5	49	36	10	5	
			計	215	3.3	95	93	19	8	44	43	9	4	
8	お子さんと自然災害等、防災に関することを家庭内で確認していることがありますか。	R4	1	54	2.7	9	22	22	1	17	41	41	2	
			2	75	2.6	11	30	29	5	15	40	39	7	
			3	56	2.7	6	29	18	3	11	52	32	5	
			計	185	2.7	26	81	69	9	14	44	37	5	
		R5	1	56	2.6	6	23	23	4	11	41	41	7	
			2	65	2.6	10	21	31	3	15	32	48	5	
			3	94	2.7	12	42	38	2	13	45	40	2	
			計	215	2.6	28	86	92	9	13	40	43	4	
9	お子さんは、感染症対策について、意識して生活していると思いますか。	R4	1	54	3.4	24	25	5	0	44	46	9	0	
			2	75	3.3	27	40	8	0	36	53	11	0	
			3	56	3.5	27	28	1	0	48	50	2	0	
			計	185	3.3	78	93	14	0	42	50	8	0	
		R5	1	56	2.9	11	33	9	3	20	59	16	5	
			2	65	3.2	22	37	6	0	34	57	9	0	
			3	94	3.3	32	56	6	0	34	60	6	0	
			計	215	3.2	65	126	21	3	30	59	10	1	
10	お子さんは、進んで運動をするなど、体力づくりに努めていますか。	R4	1	54	3.1	23	15	13	3	43	28	24	6	
			2	75	3.0	26	24	21	4	35	32	28	5	
			3	56	2.6	12	17	19	8	21	30	34	14	
			計	185	2.9	61	56	53	15	33	30	29	8	
		R5	1	56	2.8	12	26	15	3	21	46	27	5	
			2	65	3.0	21	29	12	3	32	45	18	5	
			3	94	2.9	31	27	31	5	33	29	33	5	
			計	215	2.9	64	82	58	11	30	38	27	5	
11	学校・学年・学級だより・ホームページを通して、学校の様子がわかりますか。	R4	1	53	3.4	28	21	2	2	53	40	4	4	
			2	75	3.1	21	40	12	2	28	53	16	3	
			3	56	3.2	21	26	7	2	38	46	13	4	
			計	184	3.2	70	87	21	6	38	47	11	3	
		R5	1	56	3.1	16	32	7	1	29	57	13	2	
			2	65	3.2	23	33	8	1	35	51	12	2	
			3	94	3.1	29	46	16	3	31	49	17	3	
			計	215	3.1	68	111	31	5	32	52	14	2	
12	PTA活動・学校行事への参加や参観をしたいと思いますか。	R4	1	54	3.0	12	30	10	2	22	56	19	4	
			2	74	2.7	10	41	17	6	14	55	23	8	
			3	56	3.0	18	27	6	5	32	48	11	9	
			計	184	2.9	40	98	33	13	22	53	18	7	
		R5	1	56	2.8	10	29	14	3	18	52	25	5	
			2	65	2.7	5	38	20	2	8	58	31	3	
			3	94	2.8	23	37	30	4	24	39	32	4	
			計	215	2.8	38	104	64	9	18	48	30	4	

「感想やご意見などありましたらお書きください」より
○アンケートについて ・保護者アンケートの学年、クラス記入の是非について (1)
○学校行事について ・学園祭での保護者参観（開閉祭式の参観と応援合戦の3年生保護者の正面からの参観を希望）について (1) ・合唱祭の現地集合（反対）について、その場合の体育館実施について (1)
○感染症対策について ・感染症による学級閉鎖時の連絡（コロナかインフルエンザか感染症を特定しての連絡希望）について (1) ・対策へのお礼 (1) ・合唱祭での教員、保護者のマスク着用の不徹底について (1)
○5「お子さんは、学校の中で居場所があり、楽しく学校生活を送っていると思いますか」に関連して ・本校へのお礼 (6) うち、 校則やきまり、学校生活に関連して (1) 子どもとの会話や登校時の様子、行事への取組に関連して (3) 学級の雰囲気や部活動について (1) 教職員の子どもへの声掛けに関連して (1)
○7「お子さんは、学友会の活動に積極的に参加していると思いますか」に関連して ・活躍の場の提供について (1)
○11「学校・学年・学級だより・ホームページを通して、学校の様子がわかりますか」に関連して ・本校へのお礼（たよりの記載内容、ホームページの掲載内容に関するものを含む） (3) ・ホームページの写真について（見づらいという指摘） (1)
○その他 ・本校へのお礼 (1) ・学校指定品（長袖Tシャツの学校指定を希望）について (1) ・校則や本校の校風について（肯定意見） (1)

成果と課題・改善策について

〈全体〉

自己評価項目（教職員）のすべての項目の総平均は「3.4」であり、Aを回答した教職員は45%、Bを回答した教職員は48%であった。学校長が示す学校経営の方針に基づき、取組が良い方向に動いていると見ることができる。

平均数値である「3.4」を上回った項目は、個に応じた支援（項目5）、生徒理解・信頼関係づくり（項目7）、思いやりの心の育成・集団づくり（項目8）、コロナ5類移行後の環境づくり・生活指導（項目12）、学友会活動への支援・体力づくりの指導（項目13）、学校・学年通信や学校HP等情報発信（項目15）、課題を抱える生徒への支援（項目16）の7つであった。

一方、平均数値「3.4」を下回った項目は、授業と家庭学習の連動（項目2）、新聞スクラップ等取組成果（項目3）、「考え議論する」道徳の実践（項目6）、地域人材の活用（項目9）、小中連携（項目14）、多忙化改善（項目17）の6つであった。

生徒アンケートで評価の高かった項目は、「清掃や係の仕事など、学級・学年の仕事に責任持って取り組んでいますか」（項目6、平均3.7）と「学友会の活動（北陽祭などの行事・委員会活動等）に友達と協力し取り組んでいますか」（項目8、平均3.8）そして「新しい生活様式を意識した生活ができていますか」（項目10、平均3.7）であった。項目6と8は昨年度と同じ平均だが、項目10は昨年の平均3.4から大きく上がっている。コロナ5類移行後も、生徒はマスクや咳エチケットそして手洗いや換気など、感染予防に対して高い意識をもって生活していたことがうかがえる。

一方、評価の低かった項目は、「家庭学習に自主的に取り組んでいますか」（項目3、平均2.8）と「学校便り、学年・学級便りを読んでいきますか」（項目12、平均3.2）であった。両者とも昨年度とほぼ同じ数値であるが、前者については、授業と家庭学習を連動させる工夫とともにワークやeライブラリの計画的な活用が、後者については、帰りの会等で各種通信を範読したり読む時間を取ったりするなどの対策が望まれる。

保護者アンケートで評価の高かった項目は、「お子さんは、学校の中で居場所があり、楽しく学校生活を送っていると思いますか」（項目5、平均3.3）と「お子さんは、友だちをはじめ、まわりの人に思いやりの心を持って接していると思いますか」（項目6、平均3.4）そして「お子さんは、学友会の活動（北陽祭などの行事・委員会活動等）に積極的に参加していると思いますか」（項目7、平均3.3）であった。

一方、評価の低かった項目は、「お子さんは、計画的に家庭学習を行っていますか」（項目2、平均2.6）と「お子さんと自然災害等、防災に関することを家庭内で確認していることがありますか」（項目8、平均2.6）であった。項目2については、昨年の平均2.4から2.6に上がっているものの、今年度も低い数値である。

（1）確かな学力 <生徒①②③ 保護者①② 職員①②③④>

①「甲府スタイル」をモデルとした授業づくり（ICTの効果的な活用・授業実践）

今年度の校内研究は「主体的・対話的で深く学ぶ生徒の育成～ICTの活用と個別最適化～」をテーマとし、学校適応感尺度「アセス」を用いて学習に対する個々の状況の実態把握に努めるとともに、ICTの効果的な活用と「すべての生徒のための授業」を目指して、授業のユニバーサルデザイン化を意識した授業実践に取り組んだ。その効果もあり、92%の生徒が積極的に授業に参加したと答えている。また、授業の

内容について、74%の保護者がわかっている・だいたいわかっていると肯定的な回答をしている。

Chromebook や ICT を活用した授業を積極的に取り組んだことで、97%の生徒がその使い方も含め、理解している・だいたい理解しているという回答をしている。しかし、まだ不安に感じている生徒が3%あり、昨年度よりも数値は減ったが、不安に感じている生徒への支援を行い、ICT の効果的な活用方法を意識した授業実践を心がけていきたい。

②朝の自主活動・振り返り学習の工夫

今年度も昨年度に引き続き、授業と家庭学習が連動するよう、振り返りシートなどの課題や宿題について各教科で工夫をした。生徒は69%の生徒が家庭学習に取り組んでいる・ときどき取り組んでいると答えている一方で、31%があまり行っていない・または行っていないと答えている。保護者に関しても同様に、家庭学習の取組に肯定的な回答が56%、否定的な回答が44%であった。課題や宿題など指示されたものは行うが、自主的に家庭学習を行うことについてはまだ課題が残る。今後も家庭学習の必要性を伝えるとともに、家庭でも Chromebook を活用するなどして、授業で学習した内容の定着を目指した取り組みを今後も継続していきたい。

(2) 豊かな心

①「考え、議論する」道徳の授業の推進 <職員⑥>

「考え議論する道徳」の実践については、十分できていると回答した教員が32%、おおむねできていると回答した職員が60%と、計92%の職員が「考え議論する道徳」の実践に努めている。議論をすることで、生徒の視野が広がり、否定するのではなく肯定することでいろいろな意見があることを知る生徒がいることを理解し、「考え議論する」ことの意義をふまえて実践している。より生徒の考えを深めようと生徒の実体験に合わせたり、議論が深まるようにしたりと発問を工夫している様子もうかがえる。昨年度の ICT を効果的な利用が生かされているとともに、生徒の素直な意見を引き出すための ICT の利用を考えるなど多様な使い方で生かそうとしている。今後もローテーション道徳などを活用しながら、教科への理解を深め、「思い遣る心」の育成に努めたい。

②いじめ・不登校の未然防止・早期対応 <生徒④ 保護者③④ 職員⑤⑩>

自分の子どもが学校の中で居場所があり、楽しく学校生活を送っているかについて、93%の保護者がよく当てはまる・だいたい当てはまると肯定的な回答をしている。また、95%の生徒が、学級・学年・その他の学校の活動の中でやりがいを感じていると肯定的な回答をしている。本校では、日ごろから、授業や部活動、学校行事を通して、一人ひとりが活躍できる場を設定し、自己有用感を高める教育活動を推進している。特に今年度は、コロナの5類移行に伴い様々な制限が緩和され、昨年度よりも学校行事が活発に行われた。このことも、生徒が主体的に頑張る場面、活躍できる場面の増加につながり、自己有用感を高める大きな要因になったと思われる。

困ったことがあった時に、親・先生・友だちに相談しているかについて、87%の生徒がよくしている・だいたいしていると肯定的に回答しており、否定的な回答の割合は昨年度の20%から13%に減少した。また、85%の保護者が、自分の子どもが困ったことがあった時に、親に相談するかについて、よく当ては

まる・だいたい当てはまると肯定的に回答しており、否定的な回答の割合も昨年度の 20%から 15%に減少している。多くの生徒が困ったことを解決するための手立てをもっていることがうかがえ、こうした親子関係の良好さはいじめの早期発見にも有効だと思われる。

一方、職員は、「情報収集に努め、二者懇談の実施や職員間の情報交換を通して、個に応じた適切な支援に努めている」や「不登校生徒、その保護者へのアプローチを定期的に行い、家庭と連携しながら生徒支援に努めている」の項目に対して全員が肯定的な回答をしている。学校への不適応感をもつ生徒や不登校という現実に対して、引き続き取り組んでいかなければいけない課題として残っているが、職員一人ひとりが真摯に生徒理解に努め、情報とそこから出た課題を適切に共有しようと強く意識していたことがうかがえる。今後も情報交換や家庭との連絡を密にして、いじめ・不登校を未然に防いでいくとともに、課題を抱える生徒に目を向けて、個々に寄り添うことができる相談・支援体制の充実にさらに努めていきたい。

③一人ひとりの持ち味を認め、活かす集団づくり <生徒⑤⑥⑦⑧ 保護者⑤⑥⑦ 職員⑦⑧>

生徒の積極的な行事への参加を支援し、生徒理解に努め、信頼関係づくりに取り組んでいるについて、64%の職員がよくできている、36%の職員がだいたいできていると回答し、肯定的な回答が 100%を占めている。さらに、学級活動等、諸活動の中で、思いやりの心を育て、支え合う集団づくりに努めているについても、肯定的な回答で 100%を占めている。自由記述には、「見通しをもって取り組めるように支援している」「主体的に参加することができるよう、声かけなどを行っている」「さまざまな行事の中で、全員が協力して成し遂げることを大切にして取り組んでいる」とあった。行事や諸活動の中で一人ひとりの持ち味を認め、活かす集団づくりに努めていることがうかがえる。

生徒アンケートでは、思いやりの心をもって接していますかについて肯定的な回答が 97%、学級・学年の仕事に責任をもって取り組んでいますかについては 98%、学校の活動の中で、やりがいを感じていますかについては 95%、そして学友会活動などに友達と協力し取り組んでいますかについては 97%が肯定的な回答であった。これらの結果から、多くの生徒が学校の活動にやりがいを感じており、責任をもって取り組んでいることがうかがえる。特に、友達と協力することに関しては、他の項目を比べても A（よくできている）の回答が多く、学友会の活動において友達を協力していることが分かる。

保護者アンケートからもそのことがうかがえる。お子さんは楽しく学校生活を送っていると思いますかについては 93%、お子さんは、まわりの人に思いやりの心をもって接していると思いますかについては 97%、お子さんは学友会の活動に積極的に参加していると思いますかについては 87%が肯定的な回答であった。これらのことから、生徒が楽しく学校生活を送っていると保護者が感じていることがうかがえる。一方で否定的な回答もあるので、生徒が楽しいと思えるような学校生活を送れるような支援をするとともに、生徒の積極的が活動への参加が伝わるような工夫が必要であると感じている。

(3) 健やかな体

①実践的な防災・防犯訓練の実施 <生徒⑨ 保護者⑧ 職員⑪>

安全・安心な学校づくりと、防災意識の向上を図る指導の実践については、十分できていると回答した職員が 40%、おおむねできていると回答した職員が 60%と、計 100%の職員が努めている。授業では、安全対策に関連した内容を取り入れ工夫して行っている。また、様々な機会を利用し、安全・安心な学校

生活について話をしている。生徒のアンケートについても計92%の生徒が、災害に直面したとき正しく行動できると肯定的に回答している。防災訓練は定期的に行っており、生徒の防災への意識が高まっているとともに、訓練は全校で厳粛に執り行うことができている。今後は、さらに生徒がより実際の場面を想定して行動できるように努めていきたい。また、災害のリスクや避難の注意点等に関する資料を作成し、生徒に伝える時間をしっかりとっていきたい。

②新しい生活様式を踏まえた取組の継続と推進 <生徒⑩ 保護者⑨ 職員⑫>

新しい生活様式を踏まえた環境づくりや生活指導について、96%の職員が十分できている・おおむねできていると肯定的な回答をしている。生徒の96%、保護者の89%が、新しい生活様式を意識した生活についての質問で、肯定的な回答をしていたことから、コロナ5類移行後も、手洗い、状況に応じたマスク着用、換気などの感染症対策を意識して生活していたことがわかる。それは、今年度もコロナやインフルエンザなどが流行し、学校全体で感染症対策に取り組みながら、学習活動や学友会活動、学校行事などを工夫して行ってきたことで身につけた成果と言える。今後感染症の状況がどのように変化していくかわからないが、状況に応じて、必要な新しい生活様式や感染症対策を、生徒自身が自分で判断しながら継続して取り組めるようにしていきたい。

なお、保護者からの自由記述に「(コロナかインフルエンザか) 何が流行って学級閉鎖になったのか」教えてほしいとあった。本校では、令和2年度以降、新型コロナウイルス関連の差別や偏見を考慮して、生徒の欠席理由については学級には伝えず、学級閉鎖等の場合も「感染症」として家庭に連絡してきた。家庭への連絡内容について、今後校内で検討していきたい。

③「体力づくり」の充実 <生徒⑪ 保護者⑩ 職員⑬>

生徒アンケートでは、肯定的な回答が前年度より7%程度上がっており、否定的な回答は7%程度改善している。昨年度と比べて、新型コロナウイルスの影響が少なく、運動に親しむことが増えてきている結果だと考える。また、体力づくりの活動を伝統的に行っている成果とも言える。保護者アンケートでは前年度と大きな変化はないが、肯定的な回答の割合が多いので、部活動や体育活動の成果を感じることができている。職員アンケートでは、否定的な回答があり、「見学の生徒への働きかけがあまりできなかった」と記述があった。見学者等への声かけや支援を担任だけでなく全校体制で行っていくことが改善につながると考える。

(4) 特別支援教育の充実

家庭・関係機関との連携による効果的な支援
家庭・関係機関との連携、授業のUD化、
アセス調査に基づく個別支援 <職員⑯>

職員アンケートでは十分できている・おおむねできているという肯定的な回答が96%となった。特性をもっている生徒の多くは普通学級に所属しており一斉授業を受けているが、それぞれの教科担当がUDの視点で授業を行うことで居心地の良い学習環境になっていると思われる。また、ひとりひとりに寄り添った支援ができており、人間関係やコミュニケーション能力を高める指導を日々行っており、きめ細かな適切な支援ができていていると思われる。やや問題があると回答している教員もいるため、職員会議や校内委

員会そして必要に応じてケース会議を行うことにより、全職員で共有できる校内態勢をさらに強化していく必要がある。課題を抱える生徒に対し解決策を見いだせずにひとりで悩みを抱え、困り感をもっている職員がいないようにしていきたい。

通級指導教室を利用している生徒が来年度も継続を希望していることから、その効果が表れていることが考えられる。通級担当者が本校の学級担任との連携を大切にしており、学習上又は生活上の困難の改善に取り組むことができた。

(5) 開かれた学校

①七校長会による情報交換と小中連携の推進 <職員⑭>

近隣小中学校との七校長会は、年7回実施し、結果共有や課題解決に向けた検討、各種行事の調整等を行っている。今年度は、例年実施している「NOスマホDay」やオープンスクールの他、学校適応感尺度「アセス」調査の調査データの活かし方について、近隣小中学校も参加した拡大校内研究会を開催した。また、技術科の「情報に関する技術」を1年次前半に位置づけ、9年間の義務教育課程の編成を行っている。

今年度は児生連初の試みとして、北ブロックのいじめ防止会議をオンラインで行った。本校全生徒と朝日小学校、北新小学校そして千代田小学校の3年生以上が「いじめ」について話し合った。本校に今後入学してくる児童と本校生徒が同じ問題について話し合い共通認識をもつことができたことは、大きな収穫であった。

また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、オープンスクールでは部活動見学も行った。2月中旬以降は学区内小学校へ中学校教員が出向いて授業を行う出前授業を行うなど、今後も小中の連携の在り方について意見交換を行いながら実施していきたい。

②学校・学年だより・学校HPによる情報発信 <生徒⑫ 保護者⑪⑫ 職員⑮>

96%の教員が、たよりなどを通じて、学校の教育活動を知ってもらうための努力をしている（できている）と回答しており、84%の保護者がたよりやホームページを通じて、学校の様子がわかると回答している。それに対して、23%の生徒はたよりを読まないかほとんど読んでいない。短学活等で各種通信を範読したり読む時間を取ったりして、学校と生徒・保護者との情報共有をさらに図っていきたい。

ホームページは学校生活に関するものや各種お知らせを中心に、月10回を目安に更新している。今後も情報発信に努めていきたい。

③地域教材及び地域人材の活用 <職員⑨>

職業講話や福祉講話等、地域（外部）人材を活用し、豊かな心を育てる指導に努めているかについて、否定的な回答の割合が前年度の12%から今年度は16%に増加した。今年度は、職場体験が再開したものの職業講話は実施できなかったなど、活用するべき機会を生かしきれなかったという課題が残った。生徒にとって地域、外部の方と直接関わることは地域社会に興味をもったり、社会について考えたりするために必要な機会となる。総合的な学習の時間では、福祉学習や職業学習、地域学習などが教育課程に取り入れられている。学びを深めるために地域人材をどのように取り入れるべきか、担当を中心に来年度に向け

ての見直しをしっかりと行っていきたい。

(6) 多忙化改善に向けた取組

〈職員⑰〉

多忙化改善の取組（個人）については、40%の教員が否定的な回答をしている。個人の意識や取組だけでは限界があり、組織的な取組をさらに進める必要がある。今年度は、職員会議日の短縮時程（教育課程編成の基本方針より）に加え、その日の午後の清掃をなしにしたり、部活動の地域移行に伴い、剣道部を特設部に移行したりするなど、いくつかの改善を行ってきた。今後は、定時退庁日の設定、事務処理日の設定、部活動の完全複数顧問制と分担指導体制、学年会議の勤務時間内設定、校務分掌と部活動顧問・授業時数との考慮等をさらに進めていくことにより、多忙化改善につなげていきたい。

また、多忙化改善だけではなく生徒の活動時間と下校時刻の観点から、日課時程表の変更（例：火曜日の活動終了時刻と完全下校時刻）について議論していきたい。

学校関係者評価について

次のような形で学校関係者評価を実施しました。

1 方法

・甲府市学校運営協議会規則

第6条 協議会は、毎年度、対象学校の運営状況等について評価を行うものとする。

・第2回学校運営協議会では、学校評価自己評価書の結果から事前にご意見をいただいた上で、会議を行った。

2 日時 令和6年2月19日(月)15:30

3 場所 北中学校会議室

4 協議会委員

朝日地区連合自治会長、千塚地区連合自治会長、北新地区連合自治会長、千代田地区連合自治会長、

前山梨大学特任教授、元学校評議員3名、PTA会長、PTA副会長3名(計12名)

5 来年度の学校経営方針の骨子について

・来年度の令和6年度北中学校学校経営方針の骨子については、保坂校長の提案を承認しました。(正式には、令和6年第1回学校運営協議会の席で決定することとしています)

6 学校評価自己評価書の結果に対するご意見とまとめ *文末は敬体に統一

(1) 学校教育目標、教育計画および教育活動の実施について

① 出されたご意見

・楽しい学校、活力ある学校、美しい学校と目指す学校像は概ね計画等に基づき行われていると思います。しかし、美しい学校は清掃活動等で美しくはありますが、設備が老朽化してきていますので外面的に美しくないのが現状です。安全性も考えると学校設備の補強を早急に行えるよう取り組めればと思います。

・学習に関する項目の評価が教員や生徒に比べ保護者が低いです。「学力の向上」について保護者の期待が大きいためだと思います。また学習に関する情報発信を保護者にしていくことも必要でしょうか。(同様のご意見1件あり)

・日々の授業の取り組みについては先生方の努力もあり、ICTを活用しながら現代社会でも活用できる授業の取り組みがなされていると思われます。ただ、結果をみるとわずかですがICTを活用することに不安の残る生徒もいるようですので、今後も対策やフォローアップを続けていってほしいと思います。また、家庭事情によってはWi-Fi等のインターネットの設備等がないところも考えられますのでこれに関しては、甲府市全体の問題と考えますが取り組みをお願いしたいと思います。

・教職員アンケートの4で2名がCに回答しています。新しい評価内容について、教員が理解していないということでしょうか。

・先生方の多忙さは、あまり変わらないと推察しております。クラブ活動の民間への移行や教員数(スクール・サポートなど)の確保など、すすめられると良いと思います。

② 協議後のまとめ

○ 設備の改修、修繕について

・毎年十項目程度に絞って改修、修繕のための予算要求をしており、市の財政状況の中で対応いただいています。今後も、トイレの乾式化、体育館の修繕等、安全面、人権面等を優先して要求してまいりたいと考えます。

○ 確かな学力の育成について

・一人ひとりの生徒の実態に応じた支援ができるよう、客観的調査の結果を生かしながら、主体的・対話的で深い学びとなるような授業の改善に取り組んでいます。全国学力学習状況調査(文部科学省)や県学力把握調査(県教

委)の結果等をみると、本校は、ここ数年、全国や県の平均と同等か上回る結果となっています。ただし、学習に関する保護者への情報提供はさらに工夫していきたいと考えます。

○生徒のICT活用への不安について

・一人一台端末(コンピュータ)の毎日の家庭への持ち帰りを進めて1年半以上が経ちます。令和5年2月現在では、生徒は、操作にかなり習熟しており、不安をもつ者は少ないと見ています。今後も端末の使用に関して、家庭での接続も含め、不安を持つ生徒がいれば丁寧に対応していきたいと思います。

○教員の「新しい評価」への理解について

・ここでいう「新しい評価」とは、前回の学習指導要領改訂時に評価観点が4つから3つに変更になったという新しい評価の枠組のことを指します。もちろん評価の枠組はすべての教員が正確に理解していますが実は、評価の方法にはいろいろな種類があり、子どもたちの力をなるべく正確に把握するよう工夫することが大切です。そういう意味でこの2名の教員はもっと努力が必要と感じていると捉えています。

○部活動の地域移行について

・甲府市における部活動の地域移行、地域クラブ活動が、令和6年度から開始されます。この取組は、小規模化した中学校で徐々に部活動参加者が減りチーム編制が難しくなっていることや顧問教員の数が足りないことを踏まえ、子どもたちの活動の場を広げるとともに、教員の負担を減らすために行われるものです。まだ始まる前ですが、今後円滑に進められるようにしていきたいと思います。

(2) 生徒の健全育成について

① 出されたご意見

・防災、防犯に関する意識を高めることはこれから特に重要だと感じている保護者は多いと思います。ただ実際は何も対策を講じていないという家庭が多いのではないのでしょうか。学校と地域、PTAが連携して学習会を企画、運営してはどうでしょうか?例えば山梨県警察本部生活安全部少年・女性対策課少年対策官に講師に来ていただき、少年犯罪やSNSによる犯罪等の山梨県内の実情を踏まえた対策等について学ぶとか、防災について避難所の設営や実際に被災者支援に行っているDMATやJRATのメンバーに話を伺うとか…。(同様のご意見1件あり)

・生徒アンケートの4(相談)でDに9名、保護者アンケートの5(居場所)でDに7名が回答していますので、ここを大切にしていきたい。親にしてみれば子供の居場所がないのではと心配しているのではないのでしょうか。子供も、居場所がないと思っている子が少ないがいるということではないのでしょうか。その子たちを一番に思っあげてほしいと思います。(同様のご意見2件あり。そちらには、「悩みが相談できる場所を作れることも大切だと思いますので、スクールカウンセラーの周知をさらに行っていただけたらと思います」とのご意見もいただいています)

・学校行事や会議等で学校に行った際必ず生徒さんたちが挨拶をしてくれます。私自身挨拶はとても大切なことだと考えていますので、それを自主的に行えることは健全な子どもが育てている証だと考えます。どうか今後も自主的に生徒たちが健全育成に前向きに取り組めるよう先生方も取り組んでいていただきたいと思います。

② 協議後のまとめ

○防災意識の向上について

・現在、年間5回の訓練を実施しています。今年度も地域への集団下校、保護者への引き渡し訓練、地震、火災、不審者侵入等を想定した訓練、シェイクアウト訓練(「その時にいる場所」で地震が発生したと想定して、とっさに身を守るという自発性が求められる訓練)の実施など、繰り返し行っております。ご指摘の防災関係者の講演、地域の訓練への参加促進については、検討したいと思います。

○県警との連携での講話について

・県警少年・女性対策課少年対策官からは、毎年1学期の早い時期にお招きし、講話を行っていただいております。今年度も、頻発するインターネットを介した犯罪などについて注意喚起をしていただいております。

○子どもの居場所について

- ・居場所がないという寂しさを感じている生徒がわずかですがいます。こうした悩みを把握して支援できるよう、居場所の確保や教室内での人間関係の改善を図る取組などを行っています。さらに、今年度から「学校適応感尺度「アセス」」という客観的調査を全校生徒に対して実施しています。年間2～3回、質問紙調査に答えることで人間関係や学習に対する不安などが分かる調査です。もちろん日常から教員が丁寧に関わって子どもの表情などの変化を見逃さず、支援をするようにしていますが、この調査からは、普通気付かないような気持ちの変化も分かってきます。こうした工夫もしながら、今後も個別に寄り添った指導・支援を進めていきたいと考えています。

○あいさつについて

- ・昨今では「知らない人に声を掛けられてもついていけない」と指導していることなど、社会情勢の変化によって、日常の近隣の大人の方との触れ合いや交流は難しい部分もあると思われます。ただ、校内におけるあいさつ運動については、年間を通じて学友会の活動で活動していますので、その大切さは生徒も強く認識していると思います。来年度も生徒の自主的な取組を中心にしながら取り組んでいきたいと思っています。

(3) 学校・家庭および地域社会との連携ならびにそれぞれの教育力向上・充実に関する意見ー

①出されたご意見

- ・職業講話、福祉講話など、地域で講師を探すことも可能かと思われますので、次年度は是非実施できたらと思います。(同様のご意見1件あり)
- ・学校内では挨拶してくれますが、学校外では挨拶してくれない生徒が多く寂しいです。
- ・家庭学習への取組が十分でない。外圧的ではなく主体的に取り組みたくなるような課題を工夫できると良い。難しいと思うが…。
- ・新型コロナの対応が終わり、地域との連携が少し回りやすくなったとは思いますが、ただ、お互いに感染に対する不安を払拭しきれずコロナ禍前に戻すには時間がかかると思います。職業体験は今年度行えましたが、受け入れてくれる会社等が少なかったのも現状だと思えます。2年生での活動ですが、1年生のうちに希望を確認し早い段階で受け入れのお願いをしていければと思います。

②協議後のまとめ

○職業講話や福祉講話について

- ・本校では、これまでも命を大切にする講演、がん教育講演、戦争に関する平和を守る講演よのなか科(生き方)講演など、様々な講演を実施しています。今後も、外部の専門家の体験や知見に触れ、視野を広げたり、感性を養ったりする機会を計画しつつ、近隣の住民の方々を招いて学ぶ機会もできれば実現したいと思っています。その際は、委員の皆様にも相談をさせていただきたいと思っています。

○地域との連携について

- ・令和4年度は、心豊かで優しさのある社会づくりに少しでも役立てるよう、学校で育てたお花の苗を近隣の方にお配りする、という活動を行いました。令和5年度は、さらに工夫して、希望する方にお配りできるよう工夫しました。今後もさらに喜んでいただけるよう、無理のない範囲で工夫し、活動を継続していきたいと思っています。
- ・今年度は、働くことの目的や意義などについて体験を通して学ぶため、2学年で職場体験学習に取り組み、近隣の事業所の皆様にたいへんお世話になりました。本当にありがとうございました。来年度に向けては、さらに受け入れをしてくださる事業所様がいらっやればと考え、調査したりコミュニティスクールの委員さん方にもご紹介いただいたりして、交流、連携の範囲を広げてまいりたいと考えています。

○家庭学習への取組について

- ・これまで、従来の宿題に加え、毎日自宅へ持ち帰っているパソコンでできる「eライブラリ」という市教委から提供されている電子ドリルに取り組んでいました。ただ本校は、まだ学校で購入している紙冊子問題集の利用が多く、電

子ドリルの利用があまり進んでおりません。来年度の課題として、まず実態を把握し、まず学習時間が短い生徒に対し、個別の特徴に応じて効果的な指導ができるよう学年や教科での支援態勢を整えていきたいと思ひます。

○挨拶について～前掲につき割愛～

(4) その他の意見

① 出されたご意見

- ・防災については、地区で防災訓練がありますが、親子で参加される方は少ないと思ひます。親が無関心なのは、地域に災害が少ないからか、ゆとりがないためなのか、考えてほしいです。
- ・教員の多忙化改善に向けた取り組みについては保護者の理解がまだまだ不十分などところがあると思ひます。本来教員がすべき業務に充分時間が取れるよう、保護者や地域で担えることを一緒に考える機会が増えることを希望します。
- ・第1回の運営協議会での意見を受けて取り組んだものがあつたら、その内容や結果について報告があると良い。また、DX等の新しい取組についても様子を知りたい。
- ・7校長会の様子を職員、生徒、保護者、地域に情報発信をしたい。例えば7校長が順番に他校へのメッセージ(アピール)などを原稿に書き、それぞれの学校だよりに載せる等。
- ・集計結果では防災に対して意識は高まっているようですが、元日にも大きな災害がありました、災害はいつ起こるかわかりませんので抜き打ち等で訓練を行っていく必要性を感じます。また、災害時避難所となる体育館はトイレの設備が悪く早急に改善を市に行っていく必要性を感じます。

② 協議後のまとめ

○保護者の防災意識の涵養について

- ・これまでも行ってきましたが、来年度以降も、生徒に対し、防災訓練や引き取り訓練などで学んだこと、気付いたことを、家庭での防災に生せるよう、家族で話し合う機会を設けることを促してまいりたいと思ひます。

○教員の多忙化について

- ・いろいろな調査などで、教員の働き過ぎが指摘されています。資料にある県教委の平均値はR4年度に1ヶ月あたり平均80時間を超えている教員が24.4%ということでした。本校は、R5年度は7.9%、R4年度もほぼ同様の比率でしたので、職員も強く意識して超過勤務を減らすよう努力しています。今後もさらに工夫して業務改善に取り組んでいきたいと思ひます。

○DX(デジタルトランスフォーメーション)について

- ・コンピュータとインターネットを使った業務改善には、市教委の指導の下、今年度も積極的に取り組んでいます。Googleのクラウド(GoogleWorkspace)を利用し、ネットワーク上で作業やデータ保存を行うシステムを校務でも活用し、情報を共有し、効率よく予定表や文書等を作成するなどして、業務の効率化が図られるよう工夫しています。
- ・生徒の学習指導や生活指導の面でも、GoogleWorkspaceの機能を使って、生徒と教員、あるいは生徒同士が、連絡や資料を共有したり、課題を出して回収、評価したりするなど、子どもたちの学習がスムーズに進む取り組みを進めています。

○7校長会での広報について

- ・北中と北西中学区の7つの小中学校の校長が、校長会を毎月開き、「No TV・ゲーム・スマホ Day」の実施、小学校への出前授業、学校適応感尺度「アセス」調査の実施と分析の合同研修会開催実施、合同引き取り訓練実施等さまざまな連携をすでに行っています。ご指摘の広報については、来年度の初めに検討したいと思ひます。

